※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	書Ⅲ　（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書Ⅰ、書Ⅱの授業で学んだことを発展させて、さまざまな書を鑑賞し、創作する力をつけましょう。
・裏打ち作業など自分で作品を仕上げる楽しさを学び、書くということ以外のことも身に着けることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付けている。 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解している。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を創意工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について、その価値を考え、書のよさや美しさを主体的に味わおうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期前半	漢字の書①	・漢字の書 甲骨文 礼器碑 喪乱序 魏霊蔵造像記 草書千字文	a：臨書を通し、古典の美やよさをよりよく表現できる用筆・運筆を理解している。 b：表現方法や形式による効果、美を構成する要素を分析し、作品のよさや筆者の意図を感じ取っている。 c：漢字の書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。字の成り立ちに興味を持ち、代表的な古典を知り、そのよさや美しさを主体的に味わおうとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ
	漢字の書②	・創作 五書体の中から書体を選択する 字句選文 草稿 半切に創作 表具 鑑賞	a：個性豊かに創造的な表現をするため、素材を生かし、効果的な表現の技能を身に付けている。 b：自己の感興や意図の具体化に向けた構想をもとに、全体の構成などを工夫している。 c：創造的な書表現のために、自発的に漢詩を選び、完成に至るまでの充実感や喜びを味わおうとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ
前期後半	漢字かな交じりの書	・さまざまな漢字仮名交じりの作品を鑑賞する。 ・自ら選んだ言葉を使って創作する。 ・大作	a：個性豊かに創造的な表現をするため、素材を生かし、効果的な表現の技能を身に付けている。 b：自己の感興や意図の具体化に向けた構想をもとに、全体の構成などを工夫している。 c：創造的な書表現のために、自発的に言葉を選び、完成に至るまでの充実感や喜びを味わおうとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ

※令和４年度以降入学生用

	仮名の書	・仮名の書 秋萩帖 升色紙	a: 臨書を通し、仮名の特徴的な墨法や構成を習得している。 b: それぞれの古筆のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を創意工夫している。 c: 仮名の美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを主体的に味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度